街並みテクテク No.6：二子玉川駅～自由が丘駅（2023-5-21）

参加者：碇貴臣、佐熊範和、庄子房次、染谷ミドリ、黛政男、三木和幸、木村芳一（計 7 名）

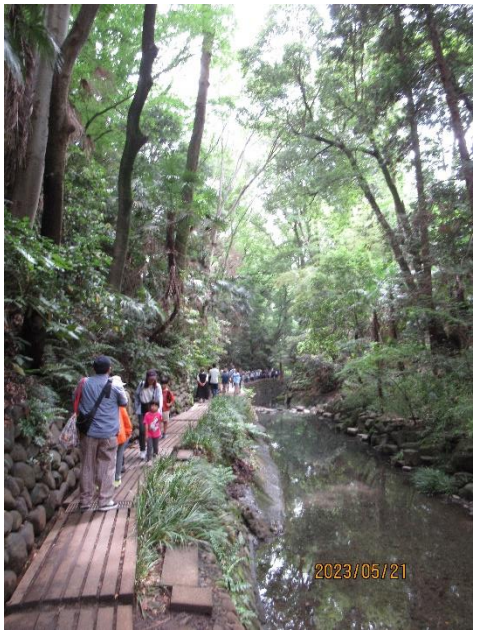
行程：二子玉川駅～自由が丘駅　約 10km
二子玉川駅→二子玉川公園（日本庭園「帰真園」と旧清水家住宅書院）→上野毛自然公園→五島美術館庭園（国分寺崖線上に位置する傾斜地）→玉川野毛町公園→等々力渓谷→多摩堤通り→傳乗寺（平成 17 年に建造された木造の五重塔）→九品仏浄真寺→東急東横線・大井町線自由が丘駅

・歩くと少し暑いくらいの気温状態で、主に多摩川と東急大井町線に囲まれる地を歩きました。幹線道路から外れると閑静な住宅街が広がっていました。
・玉川野毛町公園には、5 世紀後半に造られた、南武蔵地域の大首長墓と考えられている野毛大塚古墳がありました。国分寺崖線上の高台、上野毛から尾山台にかけて広がる野毛古墳群の中で最大規模のもので、帆立貝式の前方後円墳（全長 82m、後円部直径 67m、高さ 11m）として形成されています。
・等々力渓谷は矢沢川に沿い、武蔵野台地南端の国分寺崖線の一部で、多摩川が 10 万年以上かけて武蔵野台地を削り取ってできた河岸段丘です。崖線には樹林、湧水、横穴古墳が多くあり、諸生物の生息場所となっているとのことです（渓谷近くに住む友人の話では、狸等が出没するとのことです）。渓谷沿いには散策路が整備され、そこを気持ちよく歩きました。
・九品仏浄真寺は、奥沢城（戦国時代）があった地に、徳川家綱が創建したものです。広い敷地内に設けられた上品堂、中品堂、下品堂の 3 つのお堂にそれぞれ 3 体ずつの、高さ 2.8m の阿弥陀如来像（その内 4 体は修繕中）が安置されていました。

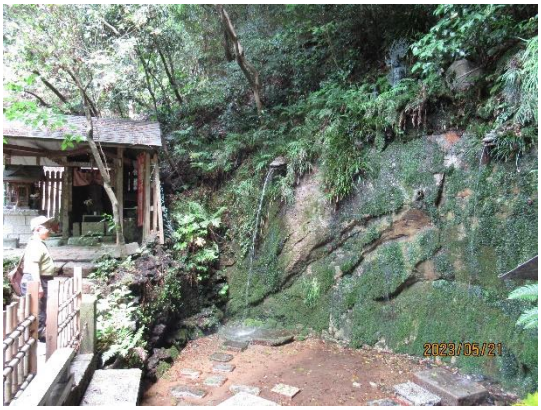
（木村芳一）

東急大井町線・二子玉川駅にて

玉川野毛町公園内の野毛大塚古墳



等々力渓谷沿いの散策路



等々力渓谷の不動の瀧

九品仏浄真寺の参道

九品仏浄真寺の本堂